

認知症になっても安心して暮らせる社会を

2023 JULY

No. 516

7

月刊 POLE-POLE (スワヒリ語)

# ぼ～れぼ～れ

ゆっくり やさしく おだやかに



群馬県支部版

わたぼうし No.479

## 認知症の人と家族の会 理念

認知症になったとしても、介護する側になったとしても、人としての尊厳が守られ日々の暮らしが安穩に続けられなければならない。認知症の人と家族の会は、ともに励ましあい助け合って、人として実りある人生を送るとともに、認知症になっても安心して暮らせる社会の実現を希求する。

### 巻頭言

知られていないことを改めて知って



群馬県支部が1981年の発足以来、続けてきた電話相談と交流会（つどい）が、2019年より、県の委託事業になりました。やはり当事者でなければわからないことがあるとの思いで続けてきた活動が、認知症疾患医療センターや地域包括支援センターと並んで、県の相談事業に位置づけられたことは、私たちにあっては大きな励みとなりました。

一人でも多くの人の役に立ちたい、とにかく知ってもらおうと、県も印刷物を作り、私たちも「電話相談周知カード」を作るなど、広報に努めてきました。

しかし、ある機会に、この人でも知らないのと、私たちの知名度はまだ足りないのと痛感させられることがありました。残念でしたが、考えようによっては必要とする人達に知ってもらう努力をする余地があるということになります。それに気づく機会をいただいたと考えて、原点に返り、工夫してさらに広報に努めたいと改めて思いました。

### 目次

・ 巻頭言 知られていないことを改めて知って	1 頁
・ へ気になった新聞報道から	
・ 認知症の行方不明者	
・ 介護保険負担増の議論再開	2 頁
・ 編集後記	2 頁
・ 2023 年世界アルツハイマーデー記念シンポジウム「コロナ禍を振り返り、これからの認知症ケアを語る」	3 ～ 4 頁

### これからの予定

- 8月19日（土）太田つどい  
10時～12時 太田市蕪川行政センター
- 8月20日（日）渋川つどい  
10時～12時 渋川市中央公民館  
（第3日曜日に変更しています。ご注意ください）
- 8月27日（日）県央つどい  
10時～12時 県社会福祉総合センター  
7階701会議室

### 電話相談

◎群馬県支部（群馬県からの委託事業）  
認知症の人と家族のための電話相談

027（289）2740

◎本部フリーダイヤル

0120（294）456



Twitter  
始めました



### 〈気になった新聞報道から〉 認知症の行方不明者

●全国統計（朝日新聞6月23日付）  
過去最多 昨年 18,709人

警察へ2022年に届け出があった認知症の行方不明者は18,709人。

（前年比1,073人増）で、統計を取り始めた2012年以降、10年連続で増加して過去最多だった。警察庁が22日、発表した。大半はその後無事に見つかったが、2021年以前に届け出られた人も含め、2022年には491人が遺体で見つかった。

認知症で行方不明になった人は2012年の1.95倍になった。2022年中に見つからなかった人は284人いた。

2021年以前に届け出があった人も含め、昨年中に生存した状態で所在が確認できたのは17923人、このうち、届け出を受理した当日に見つかったのが77.5%、99.6%は1週間以内に見つかった。

（吉沢英将記者記事より一部抜粋）

★ ★ ★ ★ ★  
（感想）大半は無事に見つかった、9.6%は1週間以内に見つかった、の記述は早く見つかるようになったことを意味するのかもしれない。

でも、見つかるまでの家族の焦燥感や死亡して見つかった人の数などを考えると、この統計の意味する重さを考えざるをえません。

●群馬県統計（上毛新聞6月26日付）  
不明者17%が認知症  
2022年県警 直近5年で最高

県警が昨年1年間に把握した行方不明者1050人のうち、認知症やその疑いがあったのは185人で全体の17.6%に上り、直近5年間で最も高かったことが、22日、県警のまとめで分かった。県警は「要因は複合的で断定できない」と説明。

県警安全人身対策課によると、行方不明者全体は2018年1234人、2019年1134人、2020年988人と推移してきた。2022年は5.2%増の17.6%だった。

過去に行方不明になった人を含め、同年に所在が確認されたのは生存・死亡を併せて合せて959人。  
（清水敬祐記者記事より一部抜粋）

### 棚上げされていた介護保険の負担増を狙う議論再開

●介護保険の負担増 議論再開 ●（朝日新聞7月11日付より抜粋）  
利用者2割負担の対象拡大 年末にも結論

介護保険制度の負担増に向けた議論が10日、厚生労働省の社会保障審議会介護保険部会で再開された。昨年末から2度先送りされた結論については、来年4月の介護報酬改定を控え、今年末までに出す方針だ。人手不足で介護職員の処遇改善が必要な一方、少子化対策のための財源確保も求められ難しい判断を迫られる。

負担増で焦点となるのは、  
①利用料を2割負担する利用者拡大

②65歳以上の高所得者保険料引上げ  
③介護老人保健施設などの多床室の室料全額負担  
厚生労働省は2割負担の対象拡大については、現在の「被保険者の年収上位20%」までを「30%」までに広げる案を提示。同省は、仮に上位30%まで拡大すると、75歳以上の単身世帯では年収220万円以上が対象になるとする。

★ ★ ★ ★ ★  
「家族の会」で、昨年末まで署名や地方自治体などに働きかけ、一旦は先送りになった介護保険の負担増の議論が再び始まりました。花俣副代表が審議会の議論で頑張ります。注目し、応援しましょう。



### 〈編集後記〉

今月は、会員の皆さんに、9月17日の記念シンポジウムについてお知らせするため特別編集としました。渡辺先生の連載は休ませていただきました。ご了承ください。（田部井）

定員 100 名  
 参加費：500 円  
 (当日受付にて)  
 認知症ケア専門士  
 3 単位修得講座

公益社団法人  
 認知症の人と家族の会

2023年

世界アルツハイマーデー記念(制定30周年)

主催: 認知症の人と家族の会 群馬県支部 シンポジウム

「コロナ禍を振り返り、

これからの認知症ケアを語る」

2023年 9月17日(日)13:00~16:15

群馬県社会福祉総合センター8階ホール (会場参加のみで開催します)

私たちはこの3年間、新型コロナウイルスの蔓延という未曾有の困難に遭遇しました。それでも、本人・家族は家庭で、介護・看護職はそれぞれの持ち場で、大事な家族、利用者、患者を守るために、身を危険にさらしながら奮闘しました。その奮闘ぶりは語り継ぐべき大きな財産となったはずです。ようやく日常が戻りつつある今、それぞれの貴重な経験を語り合い、これからの認知症ケアについて語り合いましょう

#### プログラム

- 13:00 開会
- 13:10 シンポジスト発言
- 14:45 休憩
- 15:00 語り合い
- 16:10 まとめ
- 16:15 閉会

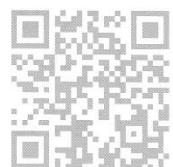
#### <シンポジウム発言者>

- ・新井淳一(介護家族)
- ・山口怜生(介護家族)
- ・糸井宮子(ケアマネジャー)
- ・高橋将弘(デイ、有料ホーム)
- ・眞下優樹(特養ホーム)
- ・磯律子(グループホーム)
- ・齋藤修一(訪問介護)
- ・大木美穂(病院・看護師)

申し込み方法：右のQRコードから Peatixにてお申し込みください。

または、裏面申込用紙にご記載いただき、FAXでも受け付けております。

<https://nintisyoukazoku-gunma2023.peatix.com>



群馬県社会福祉協議会からの補助金を得て実施しております。

後援/ 厚生労働省 群馬県 日本認知症ケア学会 協賛/ 群馬県地域密着型サービス連絡協議会

認知症の人と家族の会・今年の世界アルツハイマーデーの標語

## 「もっと知ろう もっと語ろう 認知症」

1994年、国際アルツハイマー病協会（ADI）は世界保健機関（WHO）と共同して、毎年9月21日を世界アルツハイマーデーと制定しました。ですから、今年は制定からちょうど30年の記念すべき年ということになります。「家族の会」は1992年にADIに加盟し、世界中の仲間とともに、この日を起点として、認知症に対する理解を広げるために様々な活動を展開しています。さらに、2012年には、9月を「世界アルツハイマー月間」と定めその動きを強めています。群馬県も9月を「認知症理解促進月間」と定め、認知症の課題に取り組んでいます。

「家族の会」群馬県支部は、次のような活動に取り組んでいます

介護家族のつどい（10時～12時）

- 県央：毎月第4日曜日
- 太田：偶数月第3土曜日
- 館林：奇数月第3土曜日
- 渋川：毎月第2日曜日
- 伊勢崎：年間3回土曜日

「認知症の人と家族のための電話相談」  
（月～金曜日 祝日年末年始を除く10時～15時）  
**☎027-289-2740**

支部会報  
「わたぼうし」の発行  
（毎月）

認知症介護家族支援講座（県内各地にて年4～6回）

認知症サポーター養成講座の開催

世界アルツハイマーデー記念講演会

「電話相談」、つどいの開催は、群馬県からの委託事業となっています

「家族の会」は、認知症の人、介護家族はもちろん、介護職の方などどなたも入会できます。

公益社団法人認知症の人と家族の会 群馬県支部 電話 027-289-2740

〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町13-12 群馬県社会福祉総合センター7階

Twitter: 認知症の人と家族の会群馬県支部 アカウント @G60SKfcPbHnoUei

### Fax用 シンポジウム申込用紙 (Peatixにてお申し込みされた方は不要です)

Fax(027-289-2741)にてお申し込みください  
ご記入いただいた内容は、本シンポジウム以外には使用しません。

所属等		認知症との関わり
参加者氏名 (代表者を先頭に 記入してください)		
連絡先	〒	
	電話 メール	